



平成29年度 学校だより No. 5 発行日：平成29年 9月 1日

こいぶち通信

水戸市立鯉淵小学校
【公式HP】 <http://www.magokoro.ed.jp/koibuti-e/>

2学期スタート 「姿勢・集中・返事」

8月29日(火)に、第2学期始業式が、本校体育館で行われました。整然とした落ち着いた雰囲気の中で式は進められました。

2年生の山波桜月さん、5年生の江幡健大さんが、児童を代表して2学期の抱負を発表しました。山波さんは、「早寝早起き、元気に外で遊ぶ、学習の見直しをしっかりとやる」、江幡さんは、「6年生に向けて自主学習、金管練習を悔いなく頑張る」と、堂々と発表しました。



学校長式辞では、「姿勢を良くすること、集中すること、大きな声で返事をする」との大切さについて話をしました。

これらのことは、自分の力を十分に発揮することや自信や誇りをもってたくましく生きる姿勢につながるのです。このような姿を児童に期待し、頑張らせていきたいと思えます。

2学期も保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

自動車工場に行きました 5年生社会科見学



8月31日(木)、5年生が社会科見学で、栃木県上三川町にある日産自動車栃木工場に行きました。高級車やスポーツカーなどの車両が組み立てられていく組立ラインの工程を児童は目を輝かせて、見学していました。

自動車工場見学の後には、栃木県子ども総合科学館を訪れ、プラネタリウムや様々な展示物に触れ、科学への興味を深めることができました。

大分県日田市の豪雨災害への支援ありがとうございました

7月の大分県日田市の豪雨災害への支援につきましては、児童会計画委員会を中心に呼びかけ、実施させていただきました。短期間にもかかわらず、たくさんの温かいご協力を賜り誠にありがとうございました。本校関係の皆様からいただいた義援金、40,984円と雑巾111枚は、水戸市学校長会を通して、日田市へ送付させていただきました。なお、水戸市小・中・義務教育学校全体として、日田市へ送付しました義援金は合計2,730,123円、雑巾は9,160枚でした。

小・中一貫教育の取組み始まる



水戸市では、今年度からすべての小・中学校が、小・中一貫校となり、一貫教育の取組みが始まりました。内原中学校区の鯉淵小学校・妻里小学校・内原小学校・内原中学校の4校は、水戸市教育委員会指定の施設分離型小・中一貫教育研究校になり、今年度から、平成31年度までの3年間研究を進めることになりました。



4校共通の目指す児童生徒像「人とかかわりを通して信頼する心を大切にする児童生徒」を設定し、「信頼する心を育む教育研究部」、「『生活・学習ガイド』活用研究部」、「交流活動推進研究部」の3つの研究部に分かれて研究に取り組んでまいります。

8月3日(木)には、本校を会場に4校のすべての教職員が集まり、研修会を行いました。今後、具体的にさまざまな交流や共通実践が行われる予定です。

「もみじ館」で金管演奏



8月11日(金)、金管バンド部の児童が、もみじ館夏祭りに参加し、ステージ発表を行いました。

すばらしい演奏に入所者の皆様や地域の皆様からたくさん拍手をいただきました。金管バンド部員は、夏休み中も、暑い中登校し、練習に励んできました。次は、11月3日のふれあい祭りの発表に向けて頑張ります。

PTA奉仕作業ありがとうございました



8月19日(土)、第2回PTA奉仕作業が行われ、校庭の除草やトイレ・流しの掃除を行っていただきました。

おかげさまで校舎内外がとてもきれいになりました。お忙しい中、多数の保護者の皆様にご協力いただき本当にありがとうございました。

内原商工夏祭りに「鯉淵おはやし」が出演



8月20日(日)に開催された第39回内原商工夏祭りに、鯉淵おはやし保存会が出演し、本校の児童10数名も太鼓のお囃子や踊りを披露しました。おはやし保存会は、夏休み期間の夜間本番に本校体育館で練習を重ね、この日、祭りの本番を迎えました。すばらしい発表で地域の祭りを盛り上げることができました。